

学校自己評価報告書  
(平成27年度)

平成28年7月

学校法人電波学園

あいち情報専門学校 専門課程

## 学校評価委員会

|      |    |    |        |
|------|----|----|--------|
| 委員長  | 山口 | 久雄 | (校長)   |
| 副委員長 | 清水 | 亮  | (教頭)   |
| 委員   | 中村 | 伸行 | (事務長)  |
|      | 渡邊 | 栄二 | (教務科長) |

## 目 次

|     |                         |      |
|-----|-------------------------|------|
| I   | 学校の現況                   | P 1  |
| II  | 評価の基本方針                 | P 1  |
| III | 教育目標・重点目標               | P 2  |
| IV  | 評価項目の達成及び取組状況           | P 2  |
|     | (1) 教育理念・目標             | P 2  |
|     | (2) 学校運営                | P 3  |
|     | (3) 教育活動                | P 4  |
|     | (4) 学修成果                | P 5  |
|     | (5) 学生支援                | P 6  |
|     | (6) 教育環境                | P 7  |
|     | (7) 学生の受入れ募集            | P 8  |
|     | (8) 財務                  | P 8  |
|     | (9) 法令等の遵守              | P 9  |
|     | (10) 社会貢献・地域貢献          | P 9  |
|     | (11) 国際交流               | P 10 |
| V   | 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 | P 10 |

## I 学校の現況

(1) 学校名 あいち情報専門学校

(2) 所在地 愛知県豊橋市関屋町1-6

### (3) 沿革

平成 3年4月 愛知技術短期大学情報専門学校を開校

平成12年4月 愛知工科大学情報専門学校に改称

平成16年4月 あいち情報専門学校に改称

(4) 学科の構成 工業専門課程情報処理科

### (5) 学生数および教職員数

学生数：36名

教諭数：専任 4名 講師 7名 事務員 2名

### (6) 施設の概要

地上7階、地下1階

普通教室 講堂 パソコン室 ネットワーク実習室 電気実習室

談話室 進路指導室 駐輪場 グラウンド

## II 評価の基本方針

### (1) 評価の目的

- ・実践的な職業教育を行う機関として、関係業界等のニーズを踏まえ、理念、目的、目指す人材等を掲げ、質の高い職業教育を学生たちが享受できる学校運営と専修学校教育の発展を目指すために行う。

### (2) 評価の体制

- ・学校評価委員会にて評価する。

### (3) 評価の基準

- ・設定した教育目標や計画に照らし、具体的かつ客観的なデータに基づき評価する。

### (4) 評価の公表

- ・自己評価の結果の報告書には、目標や達成状態及び取り組みの適切さを簡潔かつ明瞭に記述する。
- ・学生・教職員の個人情報保護や安全確保に留意して、報告書に記述するものと非公開とするものとを区別する。

- ・学校評価の結果は「学校ホームページ」にて公開する。

### (5) 結果に基づいた学校運営の充実と改善

- ・学校評価委員会において、分析及び課題の洗い出しを行う。
- ・次年度に向けた重点目標を設定し、全職員共通認識のもとで、改善に取り組む。

## Ⅲ 教育目標・重点目標

本校は、昭和27年に創設された学校法人電波学園の建学の精神「社会から喜ばれる知識と技術をもち歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し英知と勤勉な国民性を高め科学技術・文化の発展に貢献する」を理念としている。

学生一人ひとりを大切に育む学校として、クラス担任制を基本とした、きめ細かい指導を行っている。また、教職員と学生とのコミュニケーションを大切にしている。

頑張って咲こうとする学生を育む

1. 「学生へのサービス」の更なる向上
  - ・ワクワクする学校にする
  - ・個々の学生の「知識・技術」を高め、資格取得につながる授業を行う
  - ・地元への就職の道を固める
2. 基礎学力・専門知識を活かす力（社会人基礎力）を高める
  - ・前に踏み出す力（アクション）
  - ・考え抜く力（シンキング）
  - ・チームで働く力（チームワーク）
3. 魅力ある学校づくりのために
  - ・知恵を出し創意を凝らす
  - ・常に工夫、改善の意識を持つ

## Ⅳ 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

| 評価項目  | 適切…4、ほぼ適切…3、<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |   |   |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| ○学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | ④                             | 3 | 2 | 1 |
| ○学校における職業教育の特色は定められているか                     | ④                             | 3 | 2 | 1 |
| ○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか               | ④                             | 3 | 2 | 1 |

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ○学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者・関係業界等に周知されているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ○各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか   | ④ | 3 | 2 | 1 |

①課題

- ・創設以来、学校の教育理念は一貫しており、全教職員および全学生に周知しており、学外に向けてもメッセージを発信している。しかし、保護者等に浸透しているか検証していない。

②今後の改善方策

- ・ホームページ、保護者会等を通じて、より一層周知を図りたい。

③特記事項

- ・特になし

(2) 学校運営

| 評価項目                                      | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 |   |   |   |
|---|---------------------------|---|---|---|
| ○目的等に沿った運営方針が策定されているか                     | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○運営方針に沿った事業計画が策定されているか                    | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○人事、給与に関する規程等は整備されているか                    | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか           | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                 | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | ④                         | 3 | 2 | 1 |

①課題

- ・年度初めに開催される「年度始め式」において理事長より学園の年度目標が発表される。それを受けて校長より本校の目標が設定され各担当者により具体化される。

学校運営に必要な各システムは整備されているが、より一層上をめざし改善していきたい。

②今後の改善方策

- ・常に変化する気持ちを持ち、創意工夫をしていきたい。

③特記事項

- ・特記事項なし

(3) 教育活動

| 評価項目   | 適切… 4、ほぼ適切… 3、<br>やや不適切… 2、不適切… 1 |   |   |   |
|--|-----------------------------------|---|---|---|
| ○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○学科のカリキュラムは体系的に編成されているか                                      | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか          | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか           | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか     | 4                                 | 3 | ② | 1 |
| ○授業評価の実施・評価体制はあるか  | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                 | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                              | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○資格取得等に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                        | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○人材育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                       | 4                                 | ③ | 2 | 1 |

|  |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|
| ○関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか    | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ○関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか | 4 | ③ | 2 | 1 |
| ○職員の能力開発のための研修等が行われているか                                    | 4 | ③ | 2 | 1 |

#### ①課題

- ・情報処理技術者の育成に関しては、経済産業省の構造改革特別区域（特区）の認定を受け、認定された講座は1年次に授業に組み込まれており、情報処理業界の人材ニーズに向け正しく方向付けられている。  
学生は1年次に授業を受け講座終了時に実施される修了試験に合格すると基本情報技術者試験の一部試験（午前）免除になる。今後も、修了試験の合格率を向上させることが必要である。
- ・平成27年度は産学連携によるインターンシップの参加学生はいなかった。
- ・業務の都合上、外部の研修会等になかなか参加できなかった。

#### ②今後の改善方策

- ・本試験と同様、広い範囲から修了試験は出題される。授業においてポイントをしっかり学習させながら、応用力のきく学生を育てることが大切である。
- ・企業と学生とのマッチングをしっかりと行い、可能であればインターンシップの実績を上げていきたい。
- ・外部の研修に参加できる環境を整えていきたい。

#### ③特記事項

- ・特記事項なし

### （4）学修成果

| 評価項目                                    | 適切…4、ほぼ適切…3、<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |   |   |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| ○就職率の向上が図られているか                         | 4                             | ③ | 2 | 1 |
| ○資格取得率の向上が図られているか                       | 4                             | ③ | 2 | 1 |
| ○退学率の低減が図られているか                         | ④                             | 3 | 2 | 1 |
| ○卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか             | 4                             | ③ | 2 | 1 |
| ○卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか | 4                             | ③ | 2 | 1 |

①課題

- ・資格取得への意識づけや対策授業等で資格取得向上を図っているが、うまく成果がでないときもあり、日々各種資格の研究を推し進める必要がある。
- ・卒業生の活躍及び評価を十分に把握できていない。

②今後の改善方策

- ・資格取得向上を図るために、担任、科目担当者が連携し状況に応じながら、授業、補習を行う。
- ・就職活動に関して、学生が早め早めに行動できるよう指導していく。

③特記事項

- ・入学時より、就職指導、ビジネスマナーの授業が組み込まれている。
- ・本校はMOS試験会場校であり、使い慣れたパソコンで検定を受験できる。在学生が取得しやすい環境を整えている。
- ・平成27年度退学者0名

(5) 学生支援

| 評価項目                                     | 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1 |   |   |   |
|--|---------------------------|---|---|---|
| ○進学・就職に関する支援体制は整備されているか                  | 4                         | ③ | 2 | 1 |
| ○学生相談に関する体制は整備されているか                     | 4                         | ③ | 2 | 1 |
| ○学生に対する経済的な支援体制は整備されているか                 | 4                         | ③ | 2 | 1 |
| ○学生の健康管理を担う組織体制はあるか                      | ④                         | 3 | 2 | 1 |
| ○課外活動に対する支援体制は整備されているか                   | 4                         | 3 | ② | 1 |
| ○学生の生活環境への支援は行われているか                     | 4                         | ③ | 2 | 1 |
| ○保護者と適切に連携しているか                          | 4                         | ③ | 2 | 1 |
| ○卒業生への支援体制はあるか                           | 4                         | ③ | 2 | 1 |
| ○社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか               | 4                         | ③ | 2 | 1 |
| ○高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4                         | 3 | ② | 1 |
| ○関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか    | 4                         | 3 | ② | 1 |

①課題

- ・課外活動に関して希望が出れば担当教員を配置して活動を支援する体制は確立しているが活用されていない。

- ・在學生は卒業と同時に同窓会組織である校友会の正会員となる。この校友会を通じて支援できる体制を整えているが、活用実績は少ない。
- ・高校との連携は行っていない。
- ・再教育プログラム等を行っていない。

### ②今後の改善方策

- ・学生達と相談しながら課外活動を進めていきたい。
- ・校友会と連携しながら卒業生への情報発信を検討していきたい。
- ・高校側の状況を調査しながら高校との連携については検討していきたい。
- ・再教育プログラムに関して、まずは業界の要望を調査していきたい。

### ③特記事項

- ・課外活動ではないが、学校行事（新入生歓迎会、社会研修会、春季球技大会、カヌー体験、秋季球技大会、学校祭）など企画運営を2年生中心に行い、企画力、行動力、協調性、チームワークなどを高めている。

## （6）教育環境

| 評価項目  | 適切…4、ほぼ適切…3、<br>やや不適切…2、不適切…1 |   |   |   |
|---|-------------------------------|---|---|---|
| ○施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか           | ④                             | 3 | 2 | 1 |
| ○学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4                             | 3 | ② | 1 |
| ○防災に対する体制は整備されているか                          | 4                             | ③ | 2 | 1 |

### ①課題

- ・希望する学生にはインターンシップを実施しているが平成27年度希望者はいなかった。また、海外研修等についても希望者が出なかった。

### ②今後の改善方策

- ・就職指導の時間等を利用して、学生たちのインターンシップに参加する意思を高めていきたい。

### ③特記事項

- ・パソコン教室や電気実習室を設置し、専門科目を学習するに十分な対応を取っている。学生には入学時よりノートパソコンを貸与して、家庭でも学習できる環境を提供している。

- ・巨大地震の発生が予想される当地区に置いて、地震防災規定を整備している。学生への安全指導の強化、災害時の教職員の役割分担や対応等について体制を強化していきたい。

### (7) 学生の受入れ募集

| 評価項目                                     | 適切… 4、ほぼ適切… 3、<br>やや不適切… 2、不適切… 1 |   |   |   |
|--|-----------------------------------|---|---|---|
| ○高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか          | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○学生募集活動は、適正に行われているか                      | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○学生募集活動において、教育成果（資格取得・就職状況等）は正確に伝えられているか | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○学生納付金は妥当なものとなっているか                      | ④                                 | 3 | 2 | 1 |

#### ①課題

- ・本校の特色をアピールし学生募集を実施したが定員には満たなかった。

#### ②今後の改善方策

- ・情報系以外の分野も模索する

#### ③特記事項

- ・本校ホームページで就職実績、資格就職速報、学校行事での学生たちの笑顔を公開している。また、本校に来ていただいた方々には、学校行事の写真や各種検定合格者掲示板など教育成果を伝えられるよう心がけている。

### (8) 財務

| 評価項目                      | 適切… 4、ほぼ適切… 3、<br>やや不適切… 2、不適切… 1 |   |   |   |
|---------------------------|-----------------------------------|---|---|---|
| ○中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○財務について会計監査が適正に行われているか    | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○財務情報公開の体制整備はできているか       | ④                                 | 3 | 2 | 1 |

#### ①課題

- ・特になし

②今後の改善方策

- ・特になし

③特記事項

- ・高等課程の設置に伴い学校全体の収入が増加している。中長期的にも安定するといえるだろう。

(9) 法令等の遵守

| 評 価 項 目                        | 適切… 4、ほぼ適切… 3、<br>やや不適切… 2、不適切… 1 |   |   |   |
|--------------------------------|-----------------------------------|---|---|---|
| ○法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○自己評価の実施と問題点の改善に努めているか         | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○自己評価結果を公開しているか                | ④                                 | 3 | 2 | 1 |

①課題

- ・個人情報（プライバシー）は、尊重すべき大事なものとして認識し、個人情報取り扱いには、細心の注意をもって管理をしているが、一層信頼度を上げていきたい。

②今後の改善方策

- ・個人情報の取扱いについては、常に改善する気持ちを持って対応していく。

③特記事項

- ・自己評価結果は、学校教育法施行規則に基づき、本校のホームページに公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評 価 項 目                                      | 適切… 4、ほぼ適切… 3、<br>やや不適切… 2、不適切… 1 |   |   |   |
|--|-----------------------------------|---|---|---|
| ○学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | ④                                 | 3 | 2 | 1 |
| ○学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | ④                                 | 3 | 2 | 1 |

①課題

・活動のためのパンフレット等を掲示し推奨しているが実績はない。

②今後の改善方策

・今後も学生に働きかけていきたい。

③特記事項

・愛知県産業労働部よりパソコン講座の委託を受ける。また就業支援として社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会からもパソコン講座の委託を受けた。

### (11) 国際交流

| 評価項目                                 | 適切… 4、ほぼ適切… 3、<br>やや不適切… 2、不適切… 1 |   |   |   |
|--------------------------------------|-----------------------------------|---|---|---|
| ○留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか     | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか   | 4                                 | ③ | 2 | 1 |
| ○学修成果が国内外で評価される取組を行っているか             | 4                                 | ③ | 2 | 1 |

①課題

・学園法人事務局で、留学生募集等を対応する部署がある。本校では留学生はいない。

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

## V 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成27年度は、「学生へのサービス」の更なる向上を目標に全教職員が一丸となって計画の遂行にあたった。学生個々を伸ばすための授業の工夫、就職指導の改善などにより、資格取得率の向上、就職率の向上が徐々にではあるが成果は出てきている。

学校評価の結果としては、おおむね合格点に達している。今後継続的に取り組むべき課題は、情報提供としてのホームページの活用、インターンシップの意識づけ、卒

業生の把握・支援等である。情報提供として、ホームページをさらに充実し、情報の発信、卒業生からの情報収集の手段として活用していく。就職活動の一つの手段であるインターンシップに積極的に参加できる学生を増やす指導方法も検討していく。

I T技術の進歩、企業からの要望等を検討し、柔軟で実用的な授業を実施するよう日頃から専門的技術・技能の習得を目指し、社会から喜ばれる技術者の育成に力をそそいでいく。常に改善する気持ちを持ちチャレンジしながら、学校力を向上させる。